

新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案の発生について
（総合病院高の原中央病院 第2報）

医療法人新生会 総合病院高の原中央病院において、これまでに入院患者 31 人及び職員 11 人の感染が判明しました。

感染状況及び調査結果から、入院病棟 A において院内感染（クラスター）が発生していましたが、入院病棟 B において院内感染（クラスター）が、入院病棟 C において院内感染が発生したと判断しました。

1 発生場所

医療法人新生会 総合病院高の原中央病院（所在地 奈良市右京 1-3-3）

2 感染者の概要（合計 42 人）

(1) 経緯

入院病棟 A 8月3日、職員1人が発熱を認め、検査を行ったところ感染が判明しました。同入院病棟に関係する職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者22人及び職員7人（初発感染者1人を含む）の計29人の感染を確認しました。

入院病棟 B 8月12日、入院患者1人が発熱を認め、検査を行ったところ感染が判明しました。同入院病棟に関係する職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者6人（初発感染者1人を含む）及び職員2人の計8人の感染を確認しました。

入院病棟 C 8月12日、入院患者1人が発熱等を認め、検査を行ったところ感染が判明しました。同入院病棟に関係する職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者3人（初発感染者1人を含む）及び職員2人の計5人の感染を確認しました。

(2) 感染者（計 42 人）

ア 入院患者 31 人（市内 30 人、市外 1 人）

【内訳】性別：男性 19 人、女性 12 人

年代：50代3人、60代3人、70代7人、80代13人、90代5人

イ 職員 11 人（市内 3 人、市外 8 人）

【内訳】性別：女性 11 人

職種：医師 1 人、看護師 8 人、看護補助者 2 人

年代：20代2人、30代2人、40代4人、50代3人

※第1報（8月12日）以降、新たに入院患者 17 人、職員 7 人の感染が判明しています。

3 病院の対応

- ・ 8月4日～
 - ・ 入院病棟 A の消毒を実施。
 - ・ 入院病棟 A の入院患者及び職員に検査を実施。
 - ・ 感染予防策の強化、徹底。
 - ・ 入院病棟 A の新規入院を休止。
- ・ 8月12日～
 - ・ 入院病棟 B 及び入院病棟 C の消毒を実施。
 - ・ 入院病棟 B 及び入院病棟 C の入院患者及び職員に検査を実施。
 - ・ 感染予防策の強化、徹底。
 - ・ 入院病棟 B 及び入院病棟 C の新規入院を休止。

4 市の対応

逐次聞き取り調査を行い、感染状況及びその対応策を協議しました。

感染症法第 16 条第 2 項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、特段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。